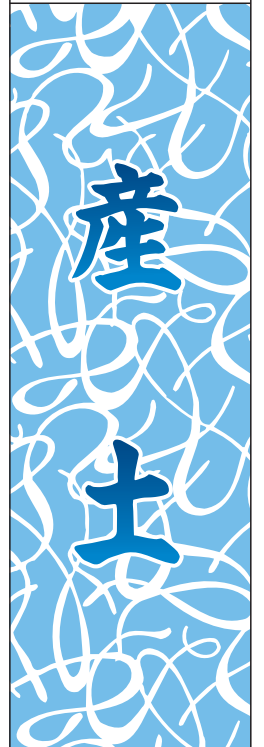


奉祝 天皇陛下御即位二十年



彦島八幡宮社報
第 37 号

夏越祭斎行

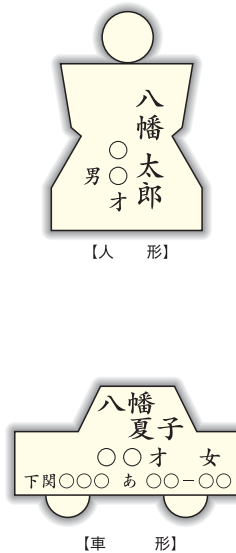
〔七月二十九日(水)前夜祭／三十日(木)御神幸祭〕

◎午後五時より前夜祭 (大祓式並びに菅拔神事) 斎行

大祓式とは、毎年(六月と十二月の末日)二回、全国の神社で執り行なう大切な神事で、日常生活において、知らず知らずのうちに犯してきた心身の罪穢れを祓い清め、神様の御心になう清く明るい正しい生活を続けようという日本の伝統的信仰であります。

人形(※右図)に氏名・年齢・男女の別を記入(※車形の場合は、車のNo.プレートも記入)し、息を三回吹きかけ、これにより人形はその人の分魂が宿り、大祓式(おおはらえしき)の当日に神職がお焚き上げ(又は、それに準ずる行為)することにより、半年間の生活の中で気付かぬ内にその方の身に付いてしまった罪や穢れが悉く祓い清められるという神事です。

※夏越祭当日、人形並びに車形を頒布しております。



夏越祭・菅拔神事とは、酷暑の夏の前に、カヤとヨモギで作られた輪をくぐり、無病息災をお祈りするお祭りです。当宮においても楼門に茅の輪を設けます。願いを込め「茅の輪くぐり」をいたしましょう。

カヤとヨモギには、左記のような意味があります。
※カヤ ヤ……鋭い葉で罪・穢を切り払う。又、カヤの芽が青々とたくましく伸び行く様にあやかり、生命を授かる事を祈る。

※ヨモギ……薬草の一種。又、ヨモギが生い茂るが如くに、一家の益々の繁栄を祈る。

水無月の夏越の祓ひする人は千歳の命延ぶといふなり

出典『古今和歌集』

※意味||夏越の祓いをする人は、長寿を全うするといわれている。





彦島各町内におみこしをお駐めし、会社、工場を始め皆様方のご安全、ご繁栄を祈願するお祭りです。

御神幸祭の順路時刻表（*下記）をご参照の上、おみこしにお参り、ご参拝いただきまして、平成二十一年下半期の更なる安全と幸せを祈念されますようご案内申し上げます。

尚、午後三時よりは、海士郷町の彦島漁港より御座船（*二艘の連結船）に、おみこしをお載せして、彦島大橋下を通過、西山海岸沖を経由、西山町の南風泊分港に至る区間、西日本最大規模の海上渡御が行われます。

毎年、海上渡御には県内外の多くのアマチュアカメラマンの撮影姿が見受けられます。

御神幸祭

七月三十日（木）

午前七時〇〇分 本殿祭
七時三〇分 発輿祭
（※おみこし出発のお祭り）
八時〇〇分 おみこし 出発
（※煙火の合図により出発）

夏越祭御神幸順路と予定時刻

本社御発輿 8:00 → 正面鳥居左折 → 三井化学内 8:05 → 三井化学前信号を左折 → 十二苗祖墳墓 8:20 → 卯月峠經由本村四つ角を右折 → 後山ナカハラプリンテックス倉庫前に入り進行 → みやぎ理容院を右折 → 南国マンション横左折 → 県道を横断 彦中下を上る → 関門トンネル上を右へ → 塩谷公園横を通過 福浦2町へ入る → 日ポリ産業前 8:50 → 山口三菱自動車角右折進行 → 金刀毘羅宮 → 関門海峡フェリー前 9:00 → 日本歯科薬品前 9:05 → 福浦橋を渡り塩浜へ → 塩浜公民館前 9:10 → サンデン彦島営業所内 9:20 → 大通りを進行 県道横断向井町を経由 山中町民館前 9:45 引き返し桜ヶ丘入口より峠を越し弟子待徳岡商店前を左折進行 → 日本グリーン昭八幡前 10:00 引き返し → 弟子待町民館前 10:20 → 弟子待を出て 弟子待保育園 10:35 を下り右折 → 村田漢方薬局前左折進行 → 角倉小学校角左折 なかべ学院下 10:45 を通り県道に出て右へ → 福浦山銀前信号を右へ → 杉田信号を右に進行 → 三菱至誠寮前を左に上り江の浦8丁目中通を進み県道に出て右折 → 下関菱重興産前 11:00 → 三菱下船工場内 11:15 → 江の浦町民館前 11:40 → サンセイ下関工場内 11:55



昼食（於、本村公会堂 TEL 266-2219）

出発 14:00 → 老町 → 貴布禰神社階段下 14:10 → 海士郷恵比須神社前 14:25 「彦島漁協にて海上渡御準備」 出船 15:00
 ～～ 漁港内一周 ～～～～ 小戸口、彦島大橋下を抜け ～～～～ 西山海水浴場沖を通過 ～～～～
 南風泊魚市場岸壁に上陸 15:35 → 魚市場前 15:45 → 南風泊漁協前 15:50 → 県道右折竹の子島に渡り 関門造船前 16:10 引返し → 西山公会堂前 16:30 → 彦島製錬 16:40 → MCS 16:45 → 県道右折進行 → 西山口信号を直進 → 神社前 キャボットジャバ 16:50
 ン引き返し → 荒田、絞バス停車前を左へ上り旧道を進行 → 彦島豆富工場前を通り県道を右へ → サンリブ彦島店 17:15 → 本社御還幸 17:15

_____ : 修祓（一旦停止）箇所 _____ : お旅所（祭典、小休止）箇所



宮司プレス 第三七号

彦島八幡宮 宮司ニユース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 平成二十一年七月一日

◇宮司の柴田です。宮司プレスの発行を始めて丸

三年がたちました。やはり今の社会情勢の中で、「ニコミ」（くちコミ、ミニコミ、マスコミ）によって情報を発信していく必要性を感じ取り組んだのでした。ちなみに、「プレス」とは、英語で印刷・出版・新聞という意味ですし、また、場所は英語でプレスといいますが、宮司の居場所や素晴らしい場所「まほろば」にも通じる思いで「宮司プレス」と名付けました。

◇六月は水無月です。

別名水無月といえます。水が無いから水無月なのではありません。無は、「な」で、古語の連用形ですから、現在は「の」に当たることばです。ですから、水の月という意味です。また、田植えの行事が無事にすみ「皆仕尽（みなしつく）した」「みなしつくしづき」から転じて水無月になったなど諸説あります。

◇御神殿周辺の紫陽花（あじさい）も、「薄紅（うすくれなひ）」や鮮やかな「水色」の花が咲き始めました。その御神殿では、御創祀八百五十年式年大祭の記念事業である透塀（すきべい）と読み、御神殿との境界です）新築工事の小槌（こ

づち）の音も清らかに響いています。



透塀は、塀は塀でも中の様子が伺える塀であります。神様のお住まいである御神殿との境、難しく申し上げると「結界（けっかい）」の事でもあります。御神殿は、境内の一番奥まった北側に位置していますので、今、行っている工事も目につきませんし、この透塀も目には見えない大切なもの、神様のお住まいを荘厳（そうごん）なものとする工事です。

◇大切なもの、大事なものは目には見えませんが、普段の生活でも気づかぬままです。

「ヒヤリ」とか「ハッ」とした出来事に遭遇した時に、何か大きな存在に助けられた思いがしたり、ごくまれな身内の病気や不幸な出来事が

あったとき、神仏の御加護を願ったりしますよね。

◇人間の命は「無限」ではなく、「有限」です。宗教の大きなテーマ（主題、命題）は、「限りある命を無限の命、永遠の命に変えしめるもの」だと思います。人は屍（しかばね）になって死を迎えるのではなく、なくなった人を知っている人が一人もいなくなった時に初めて死を迎えるというのが、神社神道の死生観です。死の悲しみを「和歌」「詩」に託して我々の世代に伝えてきたのが御先祖様でありますので、亡くなった人を心の中に生かし続けて共に歩む、生きているものと死者との魂の交わりで、まさに「共生（きょうせい）」だと思っております。先代が逝去したのも、六月二十日で、四年になります。

この透塀工事は、先代興行が竣工を心待ちにしていたものです。やっと親孝行ができるかなと思っっています。有限の生ですから、「死」を見つめて生きて行く（これを「メモントモリ」といいますが）強さを持ちながら、生かされて活き活きと生きていきたいものです。これが「生活」だと思っておりますね。

◇今、いろいろな面で「辛い」時ですよね。

この「辛い」という漢字の部首である「艹」は「辛」のたてぼうを少し長く引つ張る、「一」辛い苦しいを耐える力です。そして何とか一歩を踏み出さなければなりません。一歩、「一」を「一」に加えて「十」を作ります。「土」を作るわけですね、それを合体すると「幸」という漢字になります。一歩を踏み出す力が無ければ、「幸」は来ないのですね。「地(つち)」に足をつけて、着実な一歩を踏み出したいものです。

◇古語(ことば)では、「光」の事を「かげ」と読ませます。太陽の光が当たらないと「陰」は出来ませんよね。「お光様(かげさま)」なのです、支えてくれる、光をあててくれる事に感謝なのですよ。「光」にかかる枕詞(まくらことば)は、「たまゆら」です。ほんの一瞬という事です。光の速度は超高速です、流れ星もほんの一瞬です。人間の一生も、大自然の営みからしたら、「たまゆら」でしょう。だから、自分の命も家族の命も、皆の命も大切にかけがえのないものです。「お蔭様で」という謙虚な気持ちを忘れずに生活をすることが大事なのです。生かされて生きる事に感謝をして、「おかげさま」の気持ちで一歩を踏み出し、「幸せ」をつかみましょう。

◇自愛下さい

◇五月の祭典行事報告

▼月次祭 *五月一日、十五日

- ▼透塀新築工事地鎮祭 *五月二日
- ▼塩釜祭(塩浜町鎮座) *五月六日
- ▼福浦金刀比羅宮百八十年祭前夜祭
- ▼福浦金刀比羅宮百八十年祭 *五月十七日



◇六月の祭典行事予定(報告も含む)

- ▼朝粥会 *五月二十一日
- ▼長門一宮住吉神社宮司大司満邦葬儀
- ※柴田宮司が典礼(司会進行)を司る
- *五月二十九日

▼月次祭 *六月一日、十五日

▼早起会参拝 六月一日

▼維蘇志会草刈例会 *六月四日

▼恵比須神社(海士郷町)例祭 *六月十日



- ▼貴布禰稻荷神社例祭(老町) *六月十三日
- ▼朝粥会 *五月二十一日
- ※朝の六時半より祈願祭、宮司講話の後にお粥を食べます、どなたでも参加できます。
- ▼奉賛会総会 *六月二十一日

◇六月の宮司の予定(報告も含む)

- ▼カモンFM「764ヒルズ」に生出演 *六月一日 ◎次回は七月六日
- ▼神宮式年遷宮評議員会出席 *六月二日
- ▼神社庁下関支部三役会 *六月二日
- ▼美祢教師会総会出席 *六月三日
- ▼神職大会出席の為山口市出張 *六月四日
- ▼山口県私立高校PTA連合会総会出席 *六月五日
- ▼玄洋中PTA歓送迎会出席 *六月五日
- ▼神社庁下関支部幹事会出席 *六月十一日
- ▼消防団彦島分団機庫点検参加 *六月十三日
- ▼北九州神職会VS神社庁下関支部親睦野球大会応援 *六月十六日
- ▼先代典行宮司四年祭齋行 *六月二十日
- ▼山口県神社庁協議員会出席 *六月二十二日
- ▼迫町自治会役員会 *六月二十四日

平成二十一年 節分祭御協賛御芳名

平成二十二年節分祭にあたりまして左記の通り多大な御協賛を賜りました。

(*順不同、敬称略)

【設営協賛の部】

▼舞台花道設営

新原工業

▼照明設備

(有)タツミ電工

▼水道設備

(株)副田工務所

【協賛金の部】

▼壹万円

青木鉄工(株)

(株)田原工務店

(株)石原建設

西和建工(株)

西中国信用金庫

山口銀行(株)

協立運輸商事(株)

海洋開発(株)

下関唐戸魚市場(株)

サンセイ(株)下関工場

三菱重工(株)下関造船所

日本歯科薬品(株)

(株)岡本鉄工

ジャパンマリン(株)

日本サイテックインダストリーズ(株)

下関菱重興産(株)
日新リフラテック(株)

池田興業(株)下関支店

ブードケミー触媒(株)下関工場

キャボットジャパン(株)

下関三井化学(株)

彦島製錬(株)

(株)エム・シー・エス

(株)ナカハラプリンテックス

御創祀八百五拾年式年記念事業【お知らせ】

本宮御創祀八百五拾年式年大祭も、愈々本年十月に迫り、着々と記念事業が進んでおります。

これも、偏に多くの氏子崇敬者をはじめ関係者の皆様のお蔭と感謝しております。

本年一月より楼門のライトアップ(*1)を皮切りに、五月には多目的室へ移行の為の廻廊改修工事が完工し、また本事業最大の透塀(*2)建設工事も起工し、現在建設が進められています。

*1：原則として毎月月次祭

(一、十五日)／本宮祭

典前日、当日限定の日

没から午後九時の間。

*2：社殿周囲を囲む境界的

役割をもつ塀。名称の

由来は格子部より向こ

う側が見えることによる。



秋季例大祭(御創祀八百五拾年式年大祭)斎行のご案内

◎十月十七日(土)

前夜祭 ※神事 午後五時

▼露店商組合出店、奉納剣道大会、彦島歴史ウォーク、奉祝もちまき、ふるまい、芸能大会、福引大会、生花展、奉祝書道展、他

◎十月十八日(日)

本殿祭 午前九時(遣幣使参向)／御神幸祭 午前十一時(山口県無形民俗文化財「サイ上り神事」)

▼遣幣使：中央からの使者の意味合いで、ここでは神社本庁(伊勢の神宮を本宗と仰ぎ、日本全国約八万社の神社を包括する宗教法人)よりの使者を指す。

注 本年は、前夜祭のみ催しを執行致します。翌日は本殿祭(式年大祭)を静寂の中に厳肅に斎行致すべく、勝手乍ら境内の催しは遠慮させていただきますので予めご理解ご了承の程宜しくお願い申し上げます。

社務目誌抄

平成二十一年一月～六月

▼睦月(二月)

- 一日 初太鼓 歳旦祭
- 三日 元始祭



四日 安倍晋三代議士正式参拝



- 七日 山口銀行彦島はってんクラブ正式参拝
- 十一日 六連島八幡宮歳旦祭 成人祭
- 二十三日 三菱重工業(株)指定店会正式参拝
- 二十六日 楼門ライトアップ工事完工

▼如月(二月)

- 三日 節分祭
- 六日 初午祭(下関三井化学(株)彦島製錬(株))
- 十一日 紀元祭 建国記念日奉祝式典



十四日 横浜ベイスターズ下関ファン集いの会日本一必勝祈願祭



- 十七日 祈年祭
- 二十五日 六連島八幡宮祈年祭
- 二十七日 田の首八幡宮祈年祭



▼弥生(三月)

- 八日 下関市長選挙候補者出陣式、必勝祈願祭
- 下関市議会議員選挙候補者出陣式、必勝祈願祭

二十日

- 春分祭祖霊祭
- 神道会総会
- 角倉ミニバスケットボール少年団必勝祈願祭



二十六日 御創祀八百五拾年式年大祭 奉賛会役員会

▼卯月(四月)

- 四日 竹の子島金刀比羅宮例祭前夜祭
- 五日 竹の子島金刀比羅宮例祭本殿祭、御神幸祭



九日 福浦金刀比羅宮境内稲荷社例祭

十日 六連島八幡宮荒神祭 日本グリース(株)下関工場内稲荷神社例祭

氏子青年維蘇志会総会

舟島神社例祭 佐々木小次郎剣客慰霊祭



十九日 敬神婦人会総会

二十六日 彦島地区戦没者慰霊祭

二十九日 昭和祭 山口県無形民俗文化財サイ上り神事神役協議会

▼皐月(五月)

二日 透塀建設工事起工式 御創祀八百五拾年式年大祭 実行委員会

五日 こども祭 塩釜神社例祭

十日 早起会総会

十六日 福浦金刀比羅宮例祭前夜祭 福浦金刀比羅宮例祭本殿祭、御神幸祭



二十六日 東廻廊多目的室改修工事完工

▼水無月(六月)

- 十日 海士郷恵比須神社例祭
- 十三日 貴布禰神社境内稲荷社例祭
- 二十一日 奉賛会理事総会
- 三十日 大祓式

明治天皇御製と境内の風景(春)

明治天皇様がお詠み遊ばされた御製を本年も当宮境内に美しく咲き、多くの参拝者の心を癒した花々と共にご紹介致します。



外堰のつつみのさくらわがにはの松の木まのまにみえわゆるか姿



ふる里のこけむす庭にいはずつじ木こだかくなりていまもさきけり



手折りきて瓶にさしたる花あやめ池に見しより深きいろかな



さきみちし藤の花ふさ風ふけば芝生の上うにゆびひきてやらる



撰社 若宮神社

境内に鎮座致します若宮神社は、本宮の御祭神 応神天皇さまの第四皇子、仁徳天皇さまをお祀り申し上げております。

『日本書紀』によると仁徳天皇さまは、日本最初の大規模土木事業を行うなど灌漑用水の整備・堤の構築・広大な田地開墾に着手されておられます。

かつて、大字彦島字里さとの辺り(現、マルシヨクサンリブ迫町店付近)の彦島八幡宮神饌田しんせんえん(御神前に供するためのお米を育てる神聖な水田)脇にお祀りされており、当時の耕作人により護持され春には五穀豊穰、秋には収穫感謝といったように年間を通し祭祀が齎行され、農耕神・雨乞いの神として崇敬されてきました。行政区画整理の際、神饌田が近隣住人の所有地へと移行し水田が無くなった為、現在の境内に遷座致しました。

現在では生産の神としても崇められかつての耕作人を中心に関係者が若宮神社奉賛会を組織し、地元自治会と共に一年に一度の例祭(九月十日)を中心にお祭りを受け継いでおります。



*お知らせ

平成二十一年 若宮神社例祭

(日時)九月十日(木)午後五時

(催し)奉納平家踊り、露店他

※催しは翌日も執行



七五三参拝のご案内

七五三参拝とは、三歳、五歳、七歳と成長の節目に近くの氏神様若しくは崇敬神社に参拝して無事成長したことを感謝し、これからの将来の幸福と長寿をお祈りする人生儀礼の一つです。

左記の通り、今年七五三をお迎えになるお子様を御家族の方共々にお祝い申し上げ、お守り、千歳飴、知恵おこし、おもちゃをご用意いたしております。

▼三歳 平成十九年生まれの男子・女子

※古くは髪置と言い、頭髪を伸ばし始める歳です。

▼五歳 平成十七年生まれの男子

※古くは袴着と言い、袴を着用し始める歳です。

▼七歳 平成十五年生まれの女子

※古くは帯解きと言い、大人の帯を用い始める歳です。

朝粥会のご案内(毎月二十一日)

彦島八幡宮では、毎月二十一日(午前六時三〇分〜七時三〇分頃)に朝粥会を開催いたしております。

彦島のまほろば(良き所、美しい所の意)で、清々しい朝をお過ごしになられてはいかがでしょうか。

【内容】 ①本殿にて祈願祭を齎行 ※誕生日の方に玉串拝礼をしていただきます。

②宮司講話

③会館瑞鳳殿にておかゆを食す

【初穂料】



彦島八幡宮会館瑞鳳殿の御案内

祝宴、披露宴、新年会、忘年会、歓送迎会、各種懇親会、年祭・法要等全てに対応しております。仕出し等の各種弁当もご用意できます。ご予算献立等詳細はご連絡下さい。完全予約制ですので予めご了承下さい。(予約センター連絡先) TEL〇八三―二三四―〇七三二

※社務所にも受付しておりますのでお気軽にご相談下さい。

*洋ホール一〇〇名対応

*和室十二畳(※六畳二部屋)

*和室二十畳(※十畳二部屋)



新年御供米料奉獻会社御芳名

*奉納額順・五十音順

- 青木鉄工株式会社
有限会社エポック
株式会社大庭工務店
下関農業協同組合彦島支所
ジャパンマリン株式会社
有限会社ステンレス工芸
下関唐戸魚市場株式会社
タナカ機工有限公司
株式会社大伸運輸
株式会社ナカハラプリンテックス
日新リフラテック株式会社
農水フーズ株式会社
株式会社平越商店
三菱重工業株式会社下関造船所
池田興業株式会社下関支店
古賀産業株式会社
株式会社サントー
株式会社下関ユアサ建材
西和建工株式会社
大日商事株式会社
株式会社原工務店
みなと不動産
有限会社三宅商店
株式会社室田組
有限会社大和工機
株式会社ユキテクノ
有限会社ライス&ミルク上村
有限会社植田商会
植田木材株式会社
関門三協工業株式会社
ダイヤ電機有限公司
有限会社南国シテイ・タクシー
有限会社彦島レンタカー
有限会社丸山商事
(敬称略)
*御献納ありがとうございます。ございました。

祭典行事予定 《下半期》

文月(七月)

- 九日 六連島七社祭
十五日 天満宮例祭(竹ノ子島町)
六連島八幡宮夏越祭
田の首八幡宮夏越祭

- 二十九日~三十日 彦島八幡宮夏越祭(*西日本最大規模の海上渡御)
恵比須神社夏越祭(海士郷町)

葉月(八月)

- 上旬 まほろば学級(於、彦島八幡宮)

- 長月(九月)
十日~十一日 若宮神社例祭(彦島八幡宮境内)
※両日とも平家踊りがあります。
二十三日 彦島八幡宮神道会秋季祖霊祭
※宗旨が神道家のみたま祭
貴布禰神社例祭(老町)

神無月(十月)

- 六日~七日 六連島八幡宮例祭
十日~十一日 田の首八幡宮例祭
十五日 舞子島八幡宮例祭
十七日 神嘗祭当日祭
十七日~十八日 彦島八幡宮例大祭(*山口県無形民俗文化財「サイ上り神事」)

霜月(十一月)

- 三日 明治祭
十五日 七五三祭
二十三日 新嘗祭

師走(十二月)

- 三日 恵比須神社(海士郷町)祈漁祭
※通称「ボラ祭」
上旬 大注連縄奉製(彦島八幡宮・福浦金刀比羅宮)
二十三日 天長祭
下旬 正月臨時巫女奉仕者説明会
三十一日 大祓式
除夜祭

全国氏子青年協議会加盟

彦島八幡宮維蘇志会 入会のご案内
ひこしまはちまんぐういそしかい

平成五年に結成されて以来、彦島八幡宮の御神徳を敬仰して秋季例大祭・節分祭をはじめ諸祭事を奉仕し、例会・研修会・レクリエーション等を通じて、会員相互の研鑽と親睦を計ると共に、地域社会に貢献し、郷土の発展向上に寄与するために活動を続けております。何卒、当会の趣旨に御賛同戴き、ご入会を会員一同お待ち申し上げます。

記

◎入会資格 彦島地区内に在住もしくは勤務する満二十歳以上の男女(※法人・個人いづれも可)

◎年会費 壹萬貳千円(※月会費 壹千円) 以上

尚、詳細は彦島八幡宮社務所内「維蘇志会事務局」へお問い合わせ下さい。(TEL) 二六六〇七〇〇 / (FAX) 二六六一五九二

編集後記

社報「産土」第三十七号をお届け致します。さて、本年四月東京大学では、スリムな組織・スマートな運営・スピーディーな業務の「3S作戦」と称する改革が開始されました。世界一の無駄なし大学を目指しての事だそうです。此れに倣い、先ずは何が無駄であるかを見極める見識を養い、目的と期間を定め出来る限り無駄を取り除き、円滑な社務をしてまいりたいものです。無駄を取り除く事が出来た時に生じる心の余裕、ゆとりが神職として最大且つ最高の御神勳である祭祀の厳修に反映されることでしょう。御創祀八百五拾年式年大祭を今秋に控えておりますが、「3S作戦」に便乗し、柳腰の中に底力を備えた(スリム)組織の確立・洗練された(スマート)護持運営・敏速且つ正確(スピーディー)な社務を実践し式年大祭に具え、多くの皆様方と共にご奉仕が叶います事をひたすらに願っております。(山本)

編集・発行 彦島八幡宮社務所

下関市彦島迫町五丁目十二番九号
TEL 〇八三一二六六一〇七〇〇
FAX 〇八三一二六六一五九一一
ホームページ http://www.hikoshima-gu.net
平成二十一年七月一日

印刷・(株)ナカハラプリンテックス